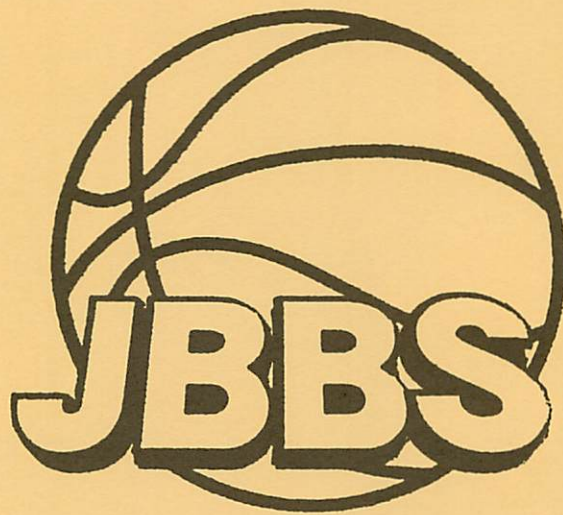


バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:30



2006年7月

日本バスケットボール振興会

DUPER[®]



WE ARE A SPECIALIST IN BASKETBALL GOODS.

DUPER FIVE CO., LTD.
3-5, TATEKAWA 3-CHOME, SUMIDA-KU, TOKYO 130-0023 JAPAN
TEL.TOKYO 03(3632)7045 FAX.TOKYO03(3632)8327
URL:<http://www.duper.co.jp> E-mail:info@duper.co.jp

●2006-2007デューパーNEWカタログをご希望の方は、住所、氏名、年齢、TEL、職業を明記し、切手390円を同封の上、上記住所までお申込み下さい。

目 次

- 2006 年 FIBA バスケットボール世界選手権 日本開催開幕迫る 3
- 特集
 - へばったら、がんばれ 歴史編集部 . . . 7
 - 指導者、故畑龍雄氏の横顔
- 第 8 回全国シニアバスケットボール交歓大会 普及部 1 6
- 会員だより
 - 新入会のご挨拶 羽佐田恭正 . . 1 9
 - 日本のバスケットボールを盛り上げる 宮崎 憲吾 . . 2 1
- プロ化されたストリートバスケットボール 広報部会 . . . 2 3
- 定期総会報告 広報部会 . . . 2 4
- 懇親会報告 広報部会 . . . 3 2
- プラザ こぼればなし 3 3
- 日本バスケットボール協会情報 3 4
- 計報
 - 橋本和明君を偲ぶ 稲垣 安二 . . 3 6
- 事務局だより 3 8
- 第 2 5 回全国ママさんバスケットボール交歓大会組合せ 3 9
- 第 5 9 回全国高等学校バスケットボール選手権大会組合せ 4 1

2006 年 FIBA バスケットボール世界選手権

日本開催開幕迫る

サッカーのWORLD CUPがイタリアの優勝で終わった。さあ次はバスケットボールのWORLD CUPだ！！

4年に一度開催されるバスケットボール世界選手権、世界各国、地域から予選を勝ち抜いた24ヶ国が、まもなく日本にやってくる。

それとともに開催日近くともなれば、世界中からこの世界選手権を観戦しようとする多数のお客様が来日する。私たちは日本のバスケットボール界の一員として、世界に恥じないよう、この大会が成功するべく自分たちのできること全てにおいて協力しなければならないだろう。

今回で15回目を数えるこの大会は、過去にブラジルで2回開催されたことがあるが、それ以外は同一国で2回開催された例はないほどの人気である。日本ではマイナーの部類に入るバスケットボールも、世界的に見ればメジャースポーツであり、サッカーと並んで大熱戦が期待できる。

大会は、札幌、仙台、浜松、広島の各都市で、A・B・C・Dの4グループに分かれて8月19日から予選ラウンドが行われ、各グループ上位4チームが8月26日から「さいたまアリーナ」で行われる決勝ラウンドに駒を進める。

バスケットボールといえば、大方の人はNBAがあるアメリカチームが強いと想像するであろうが、近年は事情が異なる。

1992年のバルセロナオリンピックにNBA選抜チーム(ドリームチーム)で出場し、圧倒的な強さで金メダルを獲得したアメリカだったが、NBAがその門戸を世界に広げたこともあって、各国の優秀なプレーヤーがNBAに集まるようになった。その結果アメリカ以外の国のレベルが格段に上昇し、バスケット王国アメリカを脅かすようになった。

アメリカは1994年の世界選手権では優勝したものの、その後は世界選手権、オリンピックとも金メダルから遠ざかっている状況だ。今回の世界選手権では、巻き返しを狙ってNBAの優秀なプレーヤーを集めて臨もうとしているが、結果はどうだろうか。

ちなみに最近の過去2回の世界選手権ではユーゴスラビアが2連続優勝しているが、いまや世界のバスケットボールはどこが優勝するのかわからないほど戦国時代となっている。

開催国である日本代表チームは、予選ラウンドを勝ち抜いて是が非でも決勝ラウンドに進んで欲しいものである。

2003年2月に、日本代表チームのヘッドコーチとして就任したクロアチアのジェリコ・パプリセビッチ氏は、世界選手権に備えて若手を中心としたチーム作りを進めてきたが、ここへ来てベテランの折茂選手や節政選手も合流し、ヨーロッパ遠征や8次にも及ぶ強化合宿を行って強化に努めている。今回のヨーロッパ遠征の中で、中国代表チームと対戦したことがあったが、80対75で敗れはしたものの5点差まで迫った実績は評価してよいだろう。広島で開催されるグループB予選ラウンドを大いに注目したい。

各開催地とも準備は着々と進められ、チケットについてもすでに第2次販売を終了して

いるが、札幌会場については全ての日の全席が売り切れの状態。

決勝ラウンドを含めて、めったに見られないこの大会を一度だけでも観戦することをお勧めしたい。チケットの第3次販売は、7月22日から最終分が受け付けられるので、ご希望の方はお近くのローソンかJTBにお問い合わせを。

予選ラウンド各グループの対戦カードと日程は以下の通り。

【グループA】 開催地 宮城県仙台市／仙台市体育館

月／日	ゲーム No	開始時間	対 戦 カ ー ド		
8/19(土)	A 1	13:00	ベネズエラ	VS	レバノン
	A 2	16:00	セルビアモンテネグロ	VS	ナイジェリア
	A 3	19:00	アルゼンチン	VS	フランス
8/20(日)	A 4	13:00	ナイジェリア	VS	ベネズエラ
	A 5	16:00	レバノン	VS	アルゼンチン
	A 6	19:00	フランス	VS	セルビアモンテネグロ
8/21(月)	A 7	13:00	アルゼンチン	VS	ベネズエラ
	A 8	16:00	セルビアモンテネグロ	VS	レバノン
	A 9	19:00	フランス	VS	ナイジェリア
8/23(水)	A 10	13:00	ナイジェリア	VS	アルゼンチン
	A 11	16:00	ベネズエラ	VS	セルビアモンテネグロ
	A 12	19:00	レバノン	VS	フランス
8/24(木)	A 13	13:00	セルビアモンテネグロ	VS	アルゼンチン
	A 14	16:00	レバノン	VS	ナイジェリア
	A 15	19:00	フランス	VS	ベネズエラ

【グループB】 開催地 広島県広島市／広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

月／日	ゲーム No	開始時間	対 戦 カ ー ド		
8/19(土)	B 1	13:00	ドイツ	VS	日本
	B 2	16:00	アンゴラ	VS	パナマ
	B 3	19:00	スペイン	VS	ニュージーランド
8/20(日)	B 4	13:00	日本	VS	アンゴラ
	B 5	16:00	ニュージーランド	VS	ドイツ
	B 6	19:00	パナマ	VS	スペイン
8/21(月)	B 7	13:00	アンゴラ	VS	ニュージーランド
	B 8	16:00	ドイツ	VS	スペイン
	B 9	19:00	日本	VS	パナマ
8/23(水)	B 10	13:00	スペイン	VS	アンゴラ
	B 11	16:00	パナマ	VS	ドイツ
	B 12	19:00	ニュージーランド	VS	日本
8/24(木)	B 13	13:00	アンゴラ	VS	ドイツ
	B 14	16:00	ニュージーランド	VS	パナマ
	B 15	19:00	日本	VS	スペイン

【グループC】 開催地 静岡県浜松市／浜松アリーナ

月／日	ゲーム No	開始時間	対 戦 カ ー ド		
8/19(土)	C 1	1 3 : 3 0	ブラジル	V S	オーストラリア
	C 2	1 6 : 3 0	ギリシャ	V S	カタール
	C 3	1 9 : 3 0	トルコ	V S	リトアニア
8/20(日)	C 4	1 3 : 3 0	カタール	V S	ブラジル
	C 5	1 6 : 3 0	オーストラリア	V S	トルコ
	C 6	1 9 : 3 0	リトアニア	V S	ギリシャ
8/22(火)	C 7	1 3 : 3 0	リトアニア	V S	カタール
	C 8	1 6 : 3 0	ギリシャ	V S	オーストラリア
	C 9	1 9 : 3 0	トルコ	V S	ブラジル
8/23(水)	C 1 0	1 3 : 3 0	オーストラリア	V S	リトアニア
	C 1 1	1 6 : 3 0	カタール	V S	トルコ
	C 1 2	1 9 : 3 0	ブラジル	V S	ギリシャ
8/24(木)	C 1 3	1 3 : 3 0	オーストラリア	V S	カタール
	C 1 4	1 6 : 3 0	リトアニア	V S	ブラジル
	C 1 5	1 9 : 3 0	ギリシャ	V S	トルコ

【グループD】 開催地 北海道札幌市／北海道立総合体育センター(きたえーる)

月／日	ゲーム No	開始時間	対 戦 カ ー ド		
8/19(土)	D 1	1 4 : 0 0	プエルトリコ	V S	アメリカ
	D 2	1 6 : 3 0	スロベニア	V S	セネガル
	D 3	1 9 : 3 0	中国	V S	イタリア
8/20(日)	D 4	1 3 : 3 0	セネガル	V S	プエルトリコ
	D 5	1 6 : 3 0	イタリア	V S	スロベニア
	D 6	1 9 : 3 0	アメリカ	V S	中国
8/22(火)	D 7	1 3 : 3 0	中国	V S	プエルトリコ
	D 8	1 6 : 3 0	イタリア	V S	セネガル
	D 9	1 9 : 3 0	スロベニア	V S	アメリカ
8/23(水)	D 1 0	1 3 : 3 0	セネガル	V S	中国
	D 1 1	1 6 : 3 0	プエルトリコ	V S	スロベニア
	D 1 2	1 9 : 3 0	アメリカ	V S	イタリア
8/24(木)	D 1 3	1 3 : 3 0	スロベニア	V S	中国
	D 1 4	1 6 : 3 0	イタリア	V S	プエルトリコ
	D 1 5	1 9 : 3 0	アメリカ	V S	セネガル

日本代表チーム

この世界選手権大会に向けて、3年前から強化に取り組んできた代表チームを紹介しよう。選手は20歳と若い川村選手から、36歳とベテランの折茂選手まで多岐にわたっている。最近の朝日新聞によれば194cmの櫻井選手がポイントガードにコンバートされるなど話題も多い。強化開始当初20数名いた選手も、合宿の大詰め（第8次）では15名に絞り込まれ、この中から12名の代表選手がエントリーされることになる。

第8次強化合宿参加メンバー

【スタッフ】

	氏 名	所 属
スーパーバイザー	杉浦 良昭	日本バスケットボール協会 男子強化部長
ヘッドコーチ	ジェリコ・パブリセヴィッチ	日本バスケットボール協会
アシスタントコーチ	加賀谷 寿	アイシン
アシスタントコーチ	東野 智弥	日本バスケットボール協会
アシスタントコーチ	有川 太郎	津波防災研究センター
ドクター	森 淳	日本医科大学
トレーナー	中村由多香	日本バスケットボール協会
マネージャー	貝塚 宗義	日本バスケットボール協会
通 訳	楠本 賢	日本バスケットボール協会
広報担当	千秋 貴弘	日本バスケットボール協会 広報部長

【選手】

No	氏 名	P	身長cm	体重kg	年齢	所 属
4	川村 卓也	SG	191	79	20	オーエスジー
5	山田 大治	PF	200	105	25	トヨタ自動車
6	櫻井 良太	SG	194	75	23	トヨタ自動車
7	五十嵐 圭	PG	180	67	26	日立
8	柏木 真介	PG	183	78	24	アイシン
9	折茂 武彦	SG	190	77	36	トヨタ自動車
10	竹内 公輔	PF	205	90	21	慶應義塾大学
11	網野 友雄	SG/F	196	88	25	アイシン
12	節政 貴弘	PG	180	78	34	東芝
13	古田 悟	C	199	95	34	トヨタ自動車
14	伊藤 俊亮	C	202	98	27	東芝
15	竹内 譲次	F/PF	205	93	21	東海大学
16	大西 崇範	SF	195	97	23	松下電器
17	佐藤 託矢	PF	197	110	22	三菱電機
21	朝山 正悟	SG	192	88	25	オーエスジー
—	平均Av	—	193.9	87.9	25.7	—

Pーポジション PGーポイントガード、SGーシューティングガード、Fーフォワード

SFースモールフォワード、PFーパワーフォワード、Cーセンター

年齢と所属は7月4日現在

テレビ

大会中すべての試合はスカイパーフェクトにより放映される。また、地上波ではTBS系列で、グループBの日本代表チームが対戦する試合すべてと9月3日の決勝戦が放映される予定。

[広報部]

特 集

—— へばったら、がんばれ ——

指導者、故畑龍雄氏の横顔

担当：歴史編集部

はじめに

古い方はご存知のことと思うが、かつて武蔵高校とお茶の水といえばインターハイ制覇の男女常連組であった。当時この両校を指導されたのが故畑龍雄氏であった。

独特の理論で選手をくどき、奮い立たせるその指導振りは、そのOB、OGたちによっていまだに語り継がれている。今回はそんな畑先生の指導に焦点をあてて座談会形式でまとめた。



故 畑龍雄氏

明治42年東京出身、昭和12年東京大学卒業、卒業後東京女高師附属高女（お茶の水女子高）コーチ就任、昭和13年応召、昭和18年武蔵高校教師及びコーチ、昭和21年から日本協会理事3期奉職、昭和22年東京都協会初代理事長、昭和33年日本代表チームコーチ、昭和52年お茶の水女子高コーチ退任、昭和56年慶應義塾大学コーチ、平成10年武蔵高校コーチ退任、平成12年享年90にて逝去、バスケットボールに関する著書多数。

出席者： 川浪茂男氏 木村厚之助氏 清水英邦氏 杉山雄之助氏 畑 正木氏
以上武蔵高校OB
中原(旧姓)節子氏 西村(旧姓)和子氏 保坂(旧姓)杏子氏
以上お茶の水付属女子高校OG
島本和彦氏

振興会： 司会 上谷富彦氏

(以下敬称略)

上 谷 振興会では会報「バスケットボールプラザ」誌上で、日本バスケットボール界の歴史（指導者に焦点）を振り返る企画をしております。第1回は吉井先生を取り上げましたが、今回は畑先生に焦点を当ててみたいと思います。

畑先生は昭和26年にお茶の水女子高を率いて全国制覇され、30年代で武蔵高校を常勝軍団につくられました。そのメンバーがどういう練習を経て、どういう風に形を結んだのかをみなさんに伝えていけたら、というのが今回の主旨です。ポイントとしてはインター



ハイを中心として、その過程でどういうことをやっていたのかをお話いただければと考えております。よろしくお願いいたします。

清水 昭和33年に武蔵を出ました清水です。私どもは東京のインターハイで優勝し



たチームでしたが、私はそこでマネージャをしていました。私と先生の関わりは実は私の親父でして、昭和22～26年まで東京都バスケットボール協会の理事長をやっておりました。番町小学校にいまして、日本でいちばん最初の体育教師でした。その関係で、先生とのお付き合いが始まったわけです。そんなことで、小学校の頃から親父と遊びに行くというとバスケットのコートでした。

木村 31年に武蔵を出た木村と申します。当時の学校では野球し

かなかったわけですが、武蔵は幸か不幸か野球部がなかったのです。それまでバスケットボールというスポーツがあるのかもしれませんが、先輩から「お前もやらないか」と誘われたのがたまたまバスケットだったということです。武蔵は伝統的に数年上の先輩に教わるので、ベースは先輩に、そのあと本格的に先生から教えてもらったという環境でした。秋田インターハイで優勝することができて、当時としては日本一になったという実感をもてなくて「こんなもんなのかな」という気持ちだったと思います。私が3年の時は決勝で新潟の三条に負けて2位だったのです。なので、4連覇できなかったことにちょっと責任を感じています(笑)。



川浪 昭和29年に行われたインターハイで優勝させていただきました。戦後始めて



でした。その時の2年生が木村君、1年生が杉山君という関係です。やってる最中はどうこう考える時間もなかったのですが、だんだん後からわかってきたことは、先生にとっても我々の年代のときが一番充実していた頃じゃないかということです。というのは、こちらにいるお茶の水OGの方々は素直に先生の教えを守って優勝されたと思うのですが、武蔵の高学年の方々には非常に優れた方がいたものですから、いちいち先生に批判的だったのです。だから、先生としても「なかなかうまくいかないものだ」と多分思っていたはずですが、我々の中に批判的なことを言う者はいなかったのですが、とにかく練習に来ないんです。私はキャプテンだったのですが、キャプテンの最大の役割はみんなを練習に連れてくることでした(笑)。ところが彼らの方が情報が早く「今日、先生来ないぞ」って(笑)、わたしより先に知っているわけです。

やっていた練習は今から思うとかなりハードなものですが、そのときはハードトレーニングだと思ったことは1回もありません。これは大きな特徴だったと思いますが、なぜそうだったのかは、また後でお話したいと思います。

決勝の相手は三条高校でした。第4Qに逆転し、最後は5点差で勝ったのですが後で三条の横山選手などと話したところ、正月3が日以外は全部練習したとの

ことで大変驚きました。私どもは週3回の練習に全員が集まることもままならない。結果的には、効率良い練習で肝心なことだけ身に付くように教わったのだなと思います。

杉 山 昭和32年卒の杉山です。いま川浪さんがハードワークじゃなかったとおっしゃりましたが、私は辛くてつらくていつ辞めようかと考えていました。おそらく木村さんもきつくなかったと思っていることでしょう。なぜかというとお二人とも上手だったからです。私は先生に「武蔵の三大ぶきっちょ」と云われてました。それくらいですから、練習で「スギ！スギ！」と怒られていたので、精神的にハードだったのかもしれません。練習中「これが終わったら、先生のところに行って退部届を出そう」と何回思ったことか（笑）。そんななかでも、なんせ強いものですから、試合をすれば勝たしてもらって。川浪さんが3年の時は試合に付いて行って見ていただけですがそのとき優勝されました。木村さんのときはワンゴール差で負けました。あのときは、国体、関東大会、インターハイと、すべて三条高校にワンゴール差で負けました。



私が思うに、黄金時代が築けたというのは、三位一体というか、先生が旬だった。どんな名監督だって旬の期間があると思うのです。まさに先生は我々の時代には最高潮だったと思います。あと、OBがとにかく熱心でした。木村さんみたいな優秀な選手もいましたけど、他の高校じゃ試合に出られないような生徒が熱心についていったというのがありました。旬のコーチと、熱心なOBと、わりかし粒の揃った生徒がいたという三位一体の条件があったのです。あとは情報のタイムラグがあったと思います。いまは、NBAのバスケットを見ようと思えば地方の学生だろうが同時に見られます。ところが昭和25年～35年までは、協会の機関紙で「バスケットボール」という雑誌が知識の普及に役立っていたのですが、そのネタというのは恐らくハワイから先生に入ってきたのだと思います。非常に熱心な方々が英語を翻訳して出版したのではないかと思います。だから、それを会得するまでの時間差というのが存在したんです。武蔵は先生がいたおかげで、向こうの最新理論の実験場として使えたのだと思います。そのような知識のタイムラグがあったと思います。

畑 この中では一番歳が下だと思うのですが、いま話題に出ている畑の長男です。



先輩たちはインターハイに行くのが当たり前で、優勝したか、しないかが話題になるのですが、そのあと8年くらいインターハイに行けない時代がありました。私の2歳下に弟がいて、弟の代から3年続けてインターハイには出場するようになりました。旬かどうかはわかりませんが、その時期もクリエイティブなことをやっていたと思います。親父がやっていたことはアメリカの文献を読むことではなく、見る、試合をたくさん見ることでした。国内の試合をたくさん見ることで、うまい人の技術は何から成り立っているのだろう、ということ进行分析して技術のない人に再現させることを繰り返しくりかえしやっていたのだと思います。

保 坂 お茶の水付属の保坂です。記録によると26年のときの優勝でした。この年は武蔵も一緒に東京代表として出場していたのですが、決勝で悔し涙をのんだわけです。川浪さんはまだ中学生で出てらしていなかったですよ(笑)。私たちお茶の水と先生との関係は、神代の時代なんですよ。大先輩がやってらしたのを正直に練習してきました。で、昭和25年にハワイが来たとき、私たちは高校1年生だったのですが先生の動きがめまぐるしかったんです。わたしたちは先生が試合を見に行くというといつもすぐ横にいて、いろんなことをおっしゃるのを聞いて学んでいたんです。そのときは、毎日新聞の河合武さんがハワイの通訳などをしておられました。その河合さんと先生が一緒になっている状況ですから、先生はいつもハワイチームと一緒にだったんです。先生は、ハワイチームから得た情報を私たちに喋るんです。単にハワイが勝ったとか負けたとかでなく、基本的なプレーについてでした。いまだに覚えていますけど、目黒の雅叙園にハワイチームが泊まっていたのですが、すごいドリブルをするのですよ、片手で。それをどうしても知りたかったので、「教えてくれ」って言ったそうです。そしたら、「教えてやることはできないけど、やってやるから見に来い」って言われたのです。それで「あの雅叙園の板の間でガンガンやっただよ」ってビックリしながら話してくれました。



どうやって手のひらにうまく馴染ませているのか、目の位置、身体の位置を全部盗んできて、それをすぐ帰ってきて私たちに教えて下さって。武蔵の方にも当然、同じことをしたと思います。あと、ワンハンドシュートもハワイの人がやるのを見て、また同じように教えてくれたのです。ハワイによって日本のバスケットボールが変わっていった環境にいさせてもらえたから、素晴らしい先端技術を教えてもらうことができました。もうひとつは武蔵の存在が大きかったです。高校生が来てくださっていたのですが、あまりにも力の差がありすぎてゲームになりませんでした。それで今度は川浪さんの学年が来てくださったのです。中学3年生のときでしょうか。

川 浪 お茶の水に行くっていうとみんな来るんですよ(笑)「今日は練習場どこ？」って聞いてくるわけですよ。

保 坂 この年だけじゃなく、ずっと勝てたというのは先生が良い練習相手を考えてくださったからなんです。女子校で男子の生徒が練習に入ってくるということが大変なことだったのです。現在はたいしたことじゃないのかもしれませんが。

今の人たちは贅沢な練習時間をとってと思うの。武蔵は週3回とおっしゃったけど私たちもそうだったの。夜になると電気をつけてくれない。日が暮れると真っ暗になるんです。だから、ボールが見えなくてもできる練習をするとかね。ケースバイケースで先生はすぐに考えてくれて、できるだけ能率良い練習をしてくれたと思います。

中 原 この歳になりまして先生の教えというか、「へばったらがんばれ」という精神状態が残っているようで、競技を終えてから半世紀以上経っているのに、いまだ



に先生の影響を感じることがあります。ご覧の通り身長も150cmちょっとしかないのに、能力的に優っていたこともないですし、「バスケットをやっていたのよ」と話す機会があっても、「ほんと？」という感じでみられます。それがインターハイで優勝しまして、その年度の全日本で2位になったのです。いま考えても信じられない成績が上げられたのは、ひとえに先生の教えが時間をかけないで有効に、大事なポイントをついていらしたからだと思います。

西村 小さいし、素質もないと思っていたんですけど、バスケットを好きだということは人一倍強かったのと、負けず嫌いだったのかもしれない。先生にお会いしなかったら私の人生はどうなっていたのだろうな、と思うくらい先生の影響力は大きかったと思います。お茶の水を出てから興銀でバスケットを続けられたことも、先生のおかげだと思います。インターハイで優勝できたということは、武蔵の川浪さんたちのおかげだったので、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。(笑)



川浪 当時県外遠征は禁止だったので、夏休みの3分の2以上はお茶の水に行かせてもらいました。おかげさまで東京都では1回も負けませんでした。僕等も力をつけさせてもらいました。一番よかったのは、みんなが練習を休まずに済んだということですよ(笑)。

清水 その頃は女の子に接触する機会のない学校ですから、お茶の水に行くとなるとみんな行きますよね。

川浪 最初は相手にならなかったけど。

中原 当時信頼関係はすごくありましたね。

木村 先生は、みなさんから見るとすごく偉大なというか、すごいコーチの仕方をしたんじゃないかというイメージがあるかもしれないですけど、それはまったく逆なのです。「こういうときはこういう風にやった方がいいだろうか、どうだろうね?」といって選手と一緒に考えるのです。ほとんど選手と対等な感じで話す方が多かったです。だから、怒鳴られたことはないし、名前を強く呼ばれることくらいしかなかったですよ。ただ、我々も否応なしに考えざるを得なかったわけです。それが私たちにはよかったですね。

川浪 ただやみくもにがんばれなんて言いませんから。「へばったらがんばれ」というのは有名な言葉になっていますけど、「声が出ない」「元気がないぞ」とか他のコーチがよく言うようなことは聞いたことがないですね。結果として、考えながらバスケットをやることになったのですが、「考えながらバスケットをやるんだぞ」とい

う指導もされてないんです。結果として考えざるを得なかったのです。

清水 「なぜこうしなきゃいけないんだ」「やったらどういう結果になるのか」というのは必ず解説されました。ただ、「先生、それはできない」と言う選手もいたんです。でも、なぜやらなければいけないのか、なんでできないと思うのかをお互いに話し合ったので、ここでも考えるようになるんです。逆に言うと、先生に「できない」と言うことは許されていました。

島本 それはお茶の水もそうでしたか。

保坂 そうでしたね。わたしたちは話すのが当たり前だと思っていたんです。

島本 戦後の日本に物がなくて困ったときに、工夫に工夫を重ねていた姿に重なりますね。僕もただがんばれと言うのは好きじゃなくて、理由があるからがんばれるんですよ。

川浪 最初は「へばったときこそがんばれ」と言われました。練習や試合を開始した直後は誰でも「言われなくてもがんばっている」、と言うんですね。だから「がんばれと言う必要なんかないんだよ」、と。一番言わなきゃいけないのは、身体がいうことかなくなって、本当はやらなきゃいけないのにサボりだしたときこそ、「がんばれ」なんだ、と。だから「へばったときこそがんばれ」なんだと言われました。

木村 へばったときというのは状態が悪いときなんですね。そのときに、きちんとプレーできるかできないかが勝負を分けるという意味もありましたね。

杉山 試合が終わったときに先生がいるのを知らなくて「今日は調子が悪くてシュートが入らなかった」と言ってしまったのです。そしたらそれを聞きとがめられて、「調子が悪いときこそが自分の実力なんだ」と。「最低のコンディションのときにある程度の力が出るようにするのが練習なんだ」、とも言われました。商売始めるようになって、先生が言っていたのは損益分岐点を上げろということだったんだな、と思いましたよ（笑）。50年経って、ポンッと先生の教えが出てくるって言うのはそういうところにあるんじゃないかと思います。先生は我々の中では伝説的な存在になっていますが、コーチとプレーヤー、先生と生徒、という間柄の外にあったような気がしますね。

木村 確かに私たちは先生の言うことを忠実にやった。個々の人間を比べたら対戦相手に勝てない選手しかいませんでした。でも5人集まると5以上の力が出るようなチームでしたね。

保坂 「へばったらがんばれ」というのを一番強く感じたのは、試合中にタイムを取って先生のところに行くと、「いまへばってるかもしれないけど、あなた以上に相

手もへばってるんだから、そこで一緒になってへばってたら勝てないんだよ」と言われました。「あともうひとがんばり。あと一歩がんばったら絶対に勝てるんだから」って。練習のときにがんばるというのよりつらいんですね。相手がいるわけですから。

川 浪 もうひとつ先生の特徴を言うとしたら、分析する力とそれを練習に組み立てる力は抜群でしたね。それを感じさせる指導者は他にはいません。ハワイの試合を見に行く。そのあと、外国の試合を見る機会が増えたので「見に行け、見に行け」と言われるんですけど、大概の人は「ああ、すごいな」で終わってしまうと思うのです。先生はそれを全然違うレベルで見てるらしく「あの巧さは、なぜあんなのだろう？」と見てるんです。基本的に、ハイレベルの選手は能力的に高い選手なわけですが、その技術を我々のように特筆する能力がない人間にどうやって教えようか、というレベルで見るわけです。そのへんが、すごいなと思いますね。

例えばジョーダンのプレー、あんな体勢でよくシュートが入るなと思いますけど、最後の瞬間ではちゃんとゴールと正対してるんです。人並みはずれたジャンプ力が支えているとは思いますが、最大のポイントは上体がきちんと正対していることです。それを畑先生だったら、普通の生徒たちにどうやって教えるか、ということを考えて練習に来るんです。あれはマネできないですね。

杉 山 英語には「通訳する」ということばが *translate* と *interpret* の2つあって、*translate* の方は右から左へただ言葉を訳すだけなのですが、*interpret* の方はいったん自分の中に取り込んで、解釈してから訳すらしいんです。先生はその *interpret* の方だったんだと思います。

清 水 わたしたちのチームは、オールコートプレスをやリ続けた日本で最初のチームだったようです。

中 原 わたしたちだってやったわよ～（笑）。

清 水 杉山のときは試合を通じてオールコートプレスだったのです。

中 原 あら、あたしたちのときは後半過ぎてからでした。息が続かないのよ。

清 水 そのときに一番うるさく言われたのは、相手が何をしようとしているのかを予測しろ、ということでした。付いていって走り回っているわけですから、相手が何をしようとしているのか見てないとすぐやられちゃうわけです。だから、予測して予測して予測しろ、と言われました。それでやられたら仕方がないと。

中 原 わたしは「相手の目を見なさい」って言われました。パスや動く瞬間の前にチラッと見るんです。そのチラが問題で、すぐ目の玉は戻りますからそこに気が付かないとダメなわけです。

島 本 練習のパターンはどうだったのですか？

川 浪 基本的には週3日です。暗くなるまででしたので、だいたい6時くらいでしたね。土日は練習はなしです。期末試験の1週間前もなしでした。先生がおいでにならないと生徒が練習のメニューを考えるのですけど、3年生のときはわたしが考えました。みんなもう終わりころになると「やめろやめろ」って声でしたね。

木 村 もともと部員が少なかったで、練習は20人いなかったですね。

清 水 我々の時代くらいから中学生と高校生と一緒に合宿しましたが、メニューはまったく一緒でしたね。

杉 山 基本は2対2でした。サボれないんできつかったですね（笑）

木 村 合宿で思い出深いのは食事の後の話し合いですよ。毎日こういう感じで集まってバスケット談義をやるわけです。ワイワイガヤガヤとやるのがひとつの糧になりましたね。それによって考え方が統一していく部分がありましたね。

清 水 そのなかでつるし上げというのがありました。中学生も高校生に対して指摘をしないといけない場面がありました。

川 浪 ミーティングというのは非常に役に立ったと思います。先生が練習のときに、このドリルはここが要点でそれを守っていこうと言うわけです。それなのに、上級生でも守れないのが必ず出てくるわけです。そのことを下級生でも誰でも言っているんです。自分がまだマスターできてなくても「〇〇さんは、できてなかった。あしたからちゃんとやるべきです」と言っているのです。それに対して「おまえだってできてなかったじゃないか」とは言っちゃいけないのです。それは有難いことだとして受け入れる、そういう雰囲気がありました。

清 水 下級生はできることに一生懸命になっていればいい。ところが上級生はできないことに集中しなくちゃいけない。お前ができてないとしたら言われるのは当たり前じゃないか、というようなことも言われましたね。

川 浪 そのやりとりは非常に役に立ったと思います。

清 水 ほかの学校と違って声を出せというのはありませんでした。声を出す暇があったら考えろ、と言われましたね。1日の練習が2時間でも全員が動き回っている練習が多かったですね。

保 坂 とにかく先生はよく考えていらっしゃいましたね。あるとき私が宇都宮で指導する機会があったんですけど、1年生がなにをやっているのかというとコートの上で声を出してるだけなのです。それを見てびっくりしちゃって。わたしは

先生に教わってきたやり方でしか指導ができませんから、すぐに変えてもらいましたけど。先生の指導方法は特別だったのかしら。

杉 山 単純なスパルタ練習をやっているチームは365日のうち、360日練習をやったとしても、わたしたちの10分の1くらいしか練習の効果がないかもしれませんね。

全 員 そういうスパルタ指導をする指導者は自分がそうした指導を受けてきたのかもしれないですけど、先生のような指導を見習って欲しいですね。

畑 もしかしたら武蔵やお茶の水は特別だったのかもしれませんが。武蔵は6年間つづけてバスケ部に所属できたり、先輩が目の前でプレーを見せてくれたり有利な部分があったと思います。そういう伝統があるというのはとてもよかったと思いますし、伝統のないチームがいままでにない練習や気持ちの習慣を新しく身につけるのは大変むずかしいことだと思います。選手やコーチだけでなく父母も含めた全体でよく考えていかないといけないのではないのでしょうか。勝てば良いではなく、本当に生徒のためを思った指導が必要なのだと思います。

父がまとめた「バスケットする心」という文章があるんです。父はいろいろなところに指導に行っていたのですが、なにか教えたあとに「わかったね？」と聞くんです。そうすると「はい、わかりました」という答えが返ってくるので、「じゃあ、明日からいま言ったことをやり続ける決心をした人は手をあげて」と聞くと、手が上がらないんだそうです。父はよく「わかったらやれ」と言いましたが、父の言う「わかった」は表面上のことではなく、そういう実行を含めてのことなのです。我々はそれを知っていたので簡単に「わかった」とは言えませんでした。そう言ったら、次の日からバリバリやらなくてはいけないわけですから(笑)。チームのためにこれをやろう、と決めたことを実行しないときの目は厳しかったと思います。練習の厳しさというのはメニューがツライとかいうことではなく、そうした厳しさだったと思います。へばってへばって練習の最後の方になってきてどうにか動いてるときに、守らなければいけないことが3つ程あるというのはかなりキツイ練習でした。いま振り返ってみればいろいろ言えますけど、高校でやっているときは言われたとおりに練習しているだけでした。でも、高校を出て大学でバスケをやったときなど、「ああ、良い練習だったな」と思ったものです。

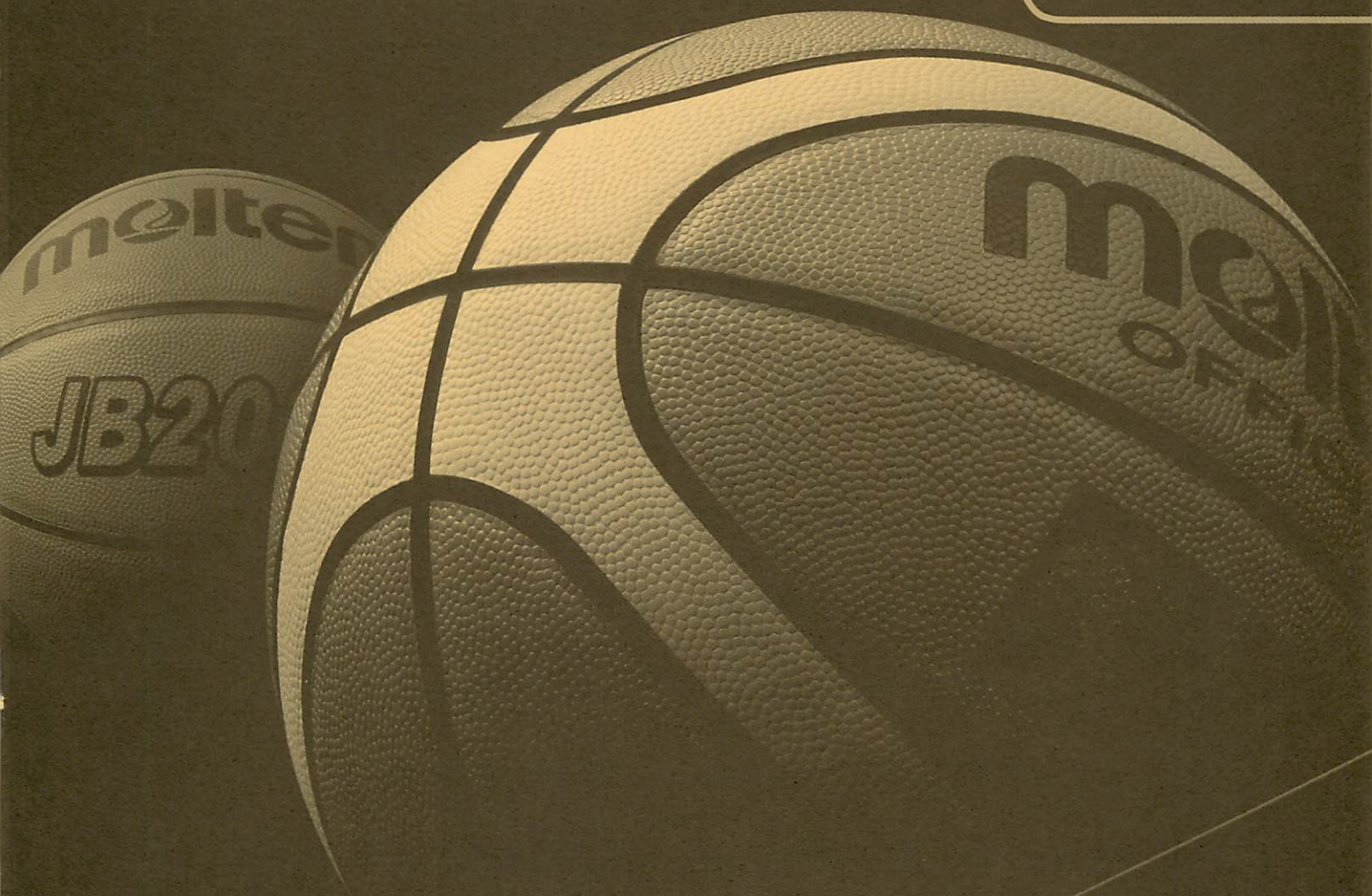
まとめ

出席した皆さんが共通して、言われた言葉は、バスケットボールの練習を通じて、人生のいろいろな局面で対応できる、哲学・フィロソフィーを獲得することができたということです。もちろん畑先生は、バスケットボールの指導者ですが、同時に優れた教育者であったと思います。

優れた才能を持つ選手をスカウトして、勝つのではなく、それぞれの選手のもつ特性を最大限発揮できるように、ドリルを考案し、説明し、納得のうえ、ともに努力し続けた姿を知ることができ、有意義な座談会を開催できたことを、皆さんに感謝します。

おわり

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレイヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

BGL7
GL7 国際公認球 検定球
貼り・天然皮革、7号球



www.molten.co.jp

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7

POWER STAFF FORE

CO.,LTD

〔環境の総合情報商社〕

“地球にやさしく” どこかで見たような聞いたような言葉。

あなたはリサイクルに関心を持っていますか？

“地球環境をこれ以上汚したくない” これが私たちの願いで

あるとともに、人類に課せられた大きな課題です。

当社は携帯電話やパソコンなど、鉄を除いた金属（レアメタル）の回収、再生（リサイクル）を主な業務にしている会社です。

日本のバスケットボールの振興、発展を応援します。

株式会社 パワースタッフ・フォア

〒333-0842

埼玉県川口市前川2-33-1

TEL 048-263-7023

FAX 048-269-8009

代表取締役 永野 鉄洋